

福井県自閉症支援トレーニングセミナー 2013

社会福祉法人 足羽福祉会

〒910-2143 福井県福井市宿布町 19-46-1

助成事業の概要

平成 25 年 11 月 16 日・17 日に当法人の研修センターにおいて、福井県内において自閉症スペクトラムの方々から支援等を行っている事業所・教育機関・医療機関等の職員を対象とした研修事業「福井県自閉症支援トレーニングセミナー 2013」を実施しました。実施にあたり、講師には川崎医療福祉大学(特任講師) 重松孝治先生を筆頭とし、計 3 人の講師の方々とそれを補助するアシスタント 6 名と自閉症の当事者の方々 (以下モデル)3 名にご協力いただきました。

研修内容は、講義とグループワークを主体として構成しています。受講生は 18 名と少数ですが、グループワークではモデルの方々の世代別(学齢期(小学生) 学齢期(中学・高校生) 成人期) 分け、そのモデルの方々に講義とグループワークで学んだ成果を繰り返し実践することで、その学んだ成果を確認しながら進めていくという形式で実施しました。

事業の成果

本事業の受講生は福祉サービス事業所、医療機関、教育機関等で従事される方々で、各現場において日々自閉症スペクトラムの方々の支援する立場にある方です。そこで正しい知識と本人理解に即した「評価」に基づく支援を考えていくことの重要性が本事業を通して、実感していただくことができました。具体的には 1 日目は自閉症スペクトラムの方々の特性に配慮した適切な「伝え方」を、

2 日目は自閉症スペクトラムの方々からの情報の「受け取り方」を中心に学びました。双方向のコミュニケーション手段を理解することで、適切な支援を検討することができました。

両日とも専門家における講義とその内容に即した実践を、1 グループ 6 人の小さなグループに分かれ、そのグループワークを通して、モデルの方々への支援を検討し実行する。実行して得られたその評価に基づき、再検討する。また再度実行し、評価していく。この PDCA サイクルを行い、自閉症スペクトラムの方々の理解に近づくことができました。

本事業終了後も、ここで学んだ知識や得られた経験を踏まえて、帰属する組織内において自閉症支援における中心的な役割を担うことができる存在となっていただくことで、その事業を利用される障害当事者の方々の生活上の課題が解決し、QOL の向上を目指しています。

また参加者同士がネットワークを組織することで、支援上の課題に直面した際にお互いに実践を通して学んだ経験も踏まえ、助言や実践した工夫について話し合う事ができるような関係の構築を目指し、研修終了後も情報交換等の機会を設ける事を計画しています。

本事業を継続して行う事で、障害特性やその特性による行動の背景への理解を得られない事によって、「問題行動」とされ、行動をとられている本人にその責が帰せられ、正しい本人評価がされずに、生活しづらかった方々に、正しい理解で適切な支援を提供し、自閉症スペクトラムの方々に対する支援者のスキルアップを図ることはもちろん

ん、当事者の方々の生活のしづらさを改善できる環境が整えられることを成果として捉えています。

において、自閉症スペクトラムの方々を支援する素地を醸成することも計画しています。

■ 成果の広報、公表

本事業開催に向けて、福井県内の福祉サービス事業所、医療機関、教育機関等に受講生を募りました。また、3 人の講師をサポートするアシスタントの方々も募集するために、各関係機関に協力をいただき広報活動を行いました。

本事業を継続して開催していくことの重要性と必要性を、セミナー終了時に受講生の方々へ次回開催のアナウンスを行いました。その際には次回開催時にご協力いただける方についても募集しています。

本事業について当法人のホームページや同じく当法人の次回(4 月発行予定)の広報誌(2,220 部発行し、当法人を利用されている方やそのご家族、県内外の関係機関には配布している)に掲載する計画をしています。

■ 今後の展開

当法人においては平成 25 年度が最初の当該事業となりますが、自閉症スペクトラムの方々を中心とした障害当事者の方々にとって生活する環境が整えられるためには、当該研修を継続して実施していくことが重要と考え、長期の実施を計画しております。

また受講生の方々を対象にフォローアップの研修を実施し、研修終了後の各現場における取り組みを報告していただき、実践していく上での悩みや困難さなども含めて、参加者で共有し、受講生をサポートする体制についても検討していきます。さらに、継続して本事業を開催していく上で、受講生の中から本事業への協力者を募り、福井県下に